

遼寧だより（令和7年1月）

■ 1月の実施事項

- 1/10（金） 在瀋陽日本国総領事館主催「2025年賀詞交換会」 …（1）
1/11（土）～1/14（火） 黒竜江省ハルビン市、吉林省吉林市視察 …（2）
1/25（土）～2/6（木） 一時帰国

（1）在瀋陽日本国総領事館主催「2025年賀詞交換会」

1月10日（金）に在瀋陽日本国総領事館で実施された「2025年賀詞交換会」に出席しました。賀詞交換会には、遼寧省、吉林省、黒竜江省の中国東北三省で経済や文化、教育など各分野で活躍されている日本人の方々が出席しました。浜田総領事による挨拶の後、代表者によって鏡割りと乾杯の挨拶がなされ、新年の華やかな幕開けとなりました。

会場ではお寿司や天ぷらなど本格的な日本料理が振舞われ、美味しい料理を味わいながら、昨年お世話になった方や新たに知り合った方々と交流を深めることができました。今回のように東北三省に滞在する日本人が一堂に会する機会はほとんどないため、日本人同士のつながりの強さを実感する良い機会となりました。また、中国では旧暦の正月である「春節」が重視されるため、年が明けたことを実感することがあまりなかったのですが、今回の賀詞交換会では日本の伝統的なお正月の雰囲気を感じることができました。



鏡開きの様子



餅つきの様子

（2）黒竜江省ハルビン市、吉林省吉林市視察

1月11日（土）から14日（火）にかけて黒竜江省ハルビン市、吉林省吉林市に滞在しました。

黒竜江省は中国の最東北部に位置しており、今回訪れたハルビン市が省都です。瀋陽市からは高速鉄道に乗って約2時間半で行くことができます。瀋陽市よりも冬の寒さが厳しく、1月の平均気温は氷点下約20度です。今回は、ハルビン市を代表するお祭りである「ハルビン氷祭り」へ行ってきました。さっぽろ雪まつりやカナダで開催されるケベックウィンターカーニバルと並ぶ、世界三大雪まつりの1つであり、今回が26回目の開催でした。会場内には、アジア各国の代表的な建築物を模した氷像が並んでおり、日本からは大阪城の氷像が建てられていました。日が暮れると氷像が色鮮やかにライトアップされ、とても美しかったです。

吉林省は黒竜江省の南部に位置しており、今回訪れた吉林市は冬になると市内を流れる松花江のほとりで霧氷がみられることで有名です。霧氷とは、空気中を漂う霧が冷たい空気に冷やされ、川沿いの木の枝などに付着して凍結したものです。松花江の木々に発生した霧氷は、まるで白い花が一面に咲き誇ったようで大変美しかったです。厳しい寒さの中で発生した幻想的な光景に、多くの観光客が見とれていました。

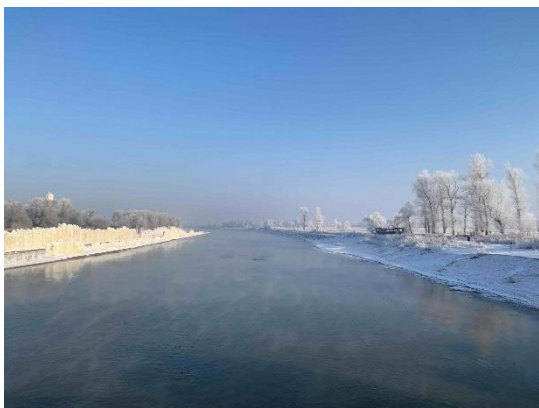
今回の滞在では、中国東北地方の冬ならではの行事や景色を体験することができました。ハルビン市では街中に氷祭りのイメージキャラクターの像やミニサイズの氷像が飾っており、市全体で氷祭りを盛り上げようという雰囲気がとても印象的でした。吉林市で霧氷を観察した際も、雲南省や江蘇省など美しい冬の景色を見に中国各地から多くの人々が訪れており、滞在を通して冰雪観光による中国東北地方の盛り上がりを感じることができました。



氷でつくられた大阪城



会場内の観覧車からの景色



吉林市内を流れる松花江



松花江沿いの霧氷